

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立海老江西小

学校

児童数

28

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	13.75	21.15	32.38	38.23	47.15	9.59	137.69	19.15	51.58
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	13.54	19.15	36.00	36.62	43.33	9.67	136.92	13.54	53.58
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

体力合計点は、男女共に大阪市平均を上回ったが、男子は1.44ポイント、女子は0.39ポイント全国平均を下回った。種目別では、男子は上体起こしの1種目、女子は上体起こし、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げの4種目で全国平均を上回った。

意識調査では、男子は100%、女子は84.6%の児童が、運動やスポーツが好きと肯定的に答えている。特に男子においては、92.9%の児童が最も肯定的に答えている。また、男女共に100%の児童が、保健学習を通してもっと運動しようと感じている。

1週間の総運動時間数が60分未満の児童の割合は、男子は0%であったが、女子は9%であった。また、1週間の総運動時間数は、男子は413.5分、女子は233.8分であり、全国平均と比べると、男子は「-115.5分」、女子は「-83.5分」であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

「マット運動週間」「とび箱週間」「鉄棒週間」「なわとびタイム」「おおなわタイム」などの強調週間の設定や、児童が進んで体を動かしたくなるような体育授業での工夫、みんな遊び、養護教諭による保健指導等、本校がこれまで取り組んできた「児童が運動に親しみ、運動が好きになる」ような取り組みが実を結び、男女共に大阪市平均を上回ることができた。今後も引き続き、教職員の研修会を充実させながら、これまでの取り組みを進めていく。

男女共に全国平均を下回った4種目（握力・長座体前屈・反復横とび・立ち幅とび）のうち、「握力」に大きな課題がみられた。よって、来年度も今年度に引き続き、体育学習時に鉄棒運動に意識して取り組んでいく。